

# サンクソフ (洋風) 施工説明書

施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより、事故や損害が生じたときは当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は製品保証の対象外となります。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください。)

ここに示した注意事項をお使いになる方が製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。お守りいただく事項の種類を次の図記号で区分し、説明しています。

- ❌ してはけない「禁止」の内容です。
- 🚫 してはけない「水場禁止」の内容です。
- 🔥 必ず実行していただく「強制」の内容です。

【暖房、洗浄便座、ヒーターをご利用の場合】 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

❌ 水がかかったり、製品表面に結露が生じるような浴室などでは絶対に使用しない湿気のため故障、感電、漏電の原因になります。

🚫 電源コードを無理な力(曲げ・折れ・ねじれ・引っ張り)で傷つけたり、加工を絶対におこなわない感電、火災の原因になります。

🔥 ヒーター用プラグの電源に、交流 100V を使用し、コンセントにがたつきのないことを確認のうえ、根元まで十分に差し込む交流 200V や直流電源を使用すると、火災や故障の原因になります。

🔥 電気配線は必ず専門の電気工事店が行う資格のない人が電気工事をする場合は法的に認められておりません。

**注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

❌ 製品に衝撃を与えない陶器が破損してけがをしたり、漏水のため、家財などをぬらす原因になります。

🔥 施工に使用する部品は必ず付属部品を使用する正常な取り付けができなくなる可能性があります。

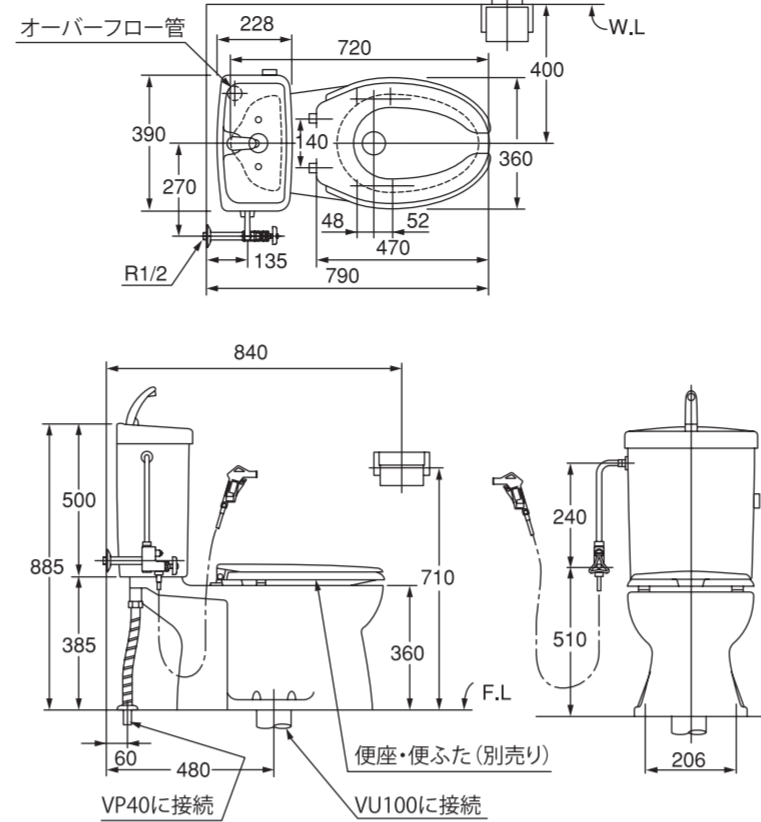
🔥 施工は、この説明書に従って確実に行う施工に不備があると、漏水のため、家財などをぬらす原因になります。

- 本簡易水洗便器は建築基準法に適合した商品です。
- 水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水は使用しないでください。衛生上のトラブルや故障の原因になります。
- 使用可能水道圧範囲は 0.05MPa (流動時) ~ 0.75MPa (静止時) です。
- 不特定多数の人が使用される場所への設置は避けてください。

施工業者様用

AF450(手洗付)  
AF400(手洗なし)

## 標準工事図面



**注意**  
オーバーフロー配管は必ず VP40 に接続する給水が止まらない場合に溢れて、家財などをぬらす原因になります。

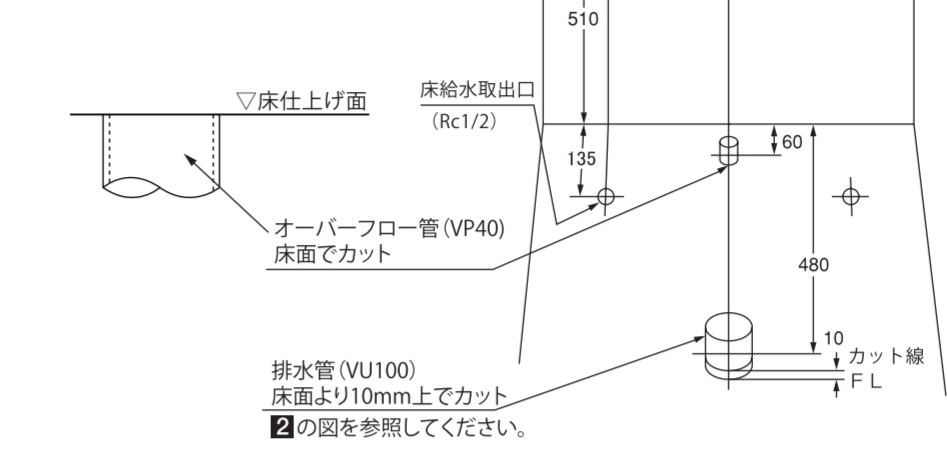
**便槽選定の目安**  
●このトイレは必ず便槽に接続してください。便槽の容量は 600ℓ 以上のものを使用してください。  
●便槽の容量は 1 か月 1 回の汲み取りとして下表が標準です。ただし、簡易水洗便器に温水洗浄便座を使用する場合は使用水量が増えますので、目安よりも一段大型の便槽が必要と見えます。

| 家族数 | 3~4人 | 5~6人 | 6~7人  |
|-----|------|------|-------|
| 容量  | 600ℓ | 800ℓ | 1000ℓ |

## 1 便器と給水・排水管の位置を決める

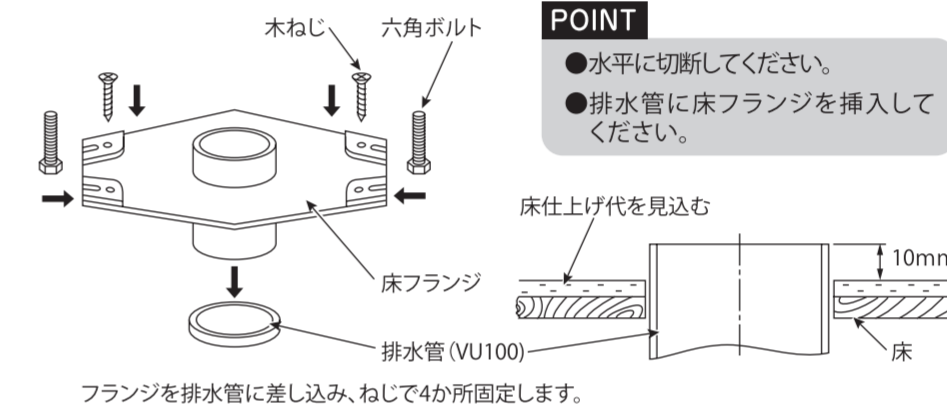
①標準工事図面を基準にして便器の据え付け位置を確認します。排水管 (VU100) とオーバーフロー管 (VP40) を右図の寸法位置に立ち上げてください。

②給水配管を壁面から取り出してください。



## 2 フランジの取り付けと汚水管接続

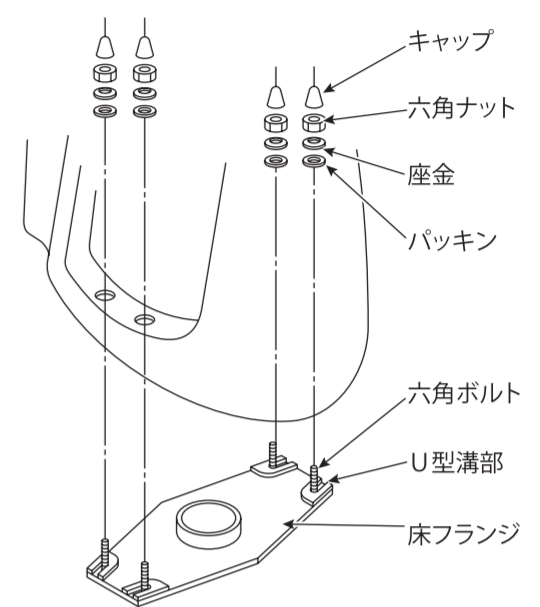
排水管 (VU100 パイプ又は導入パイプ) を床仕上げ代を見込んで切断してください。フランジの排水管差し込み代は 10mm です。この寸法内で切断してください。10mm 以上ですと便器が浮いて据え付けられません。オーバーフロー排水管 (VP40) も床仕上げ代を見込んで切断してください。



## 3 便器と据付け

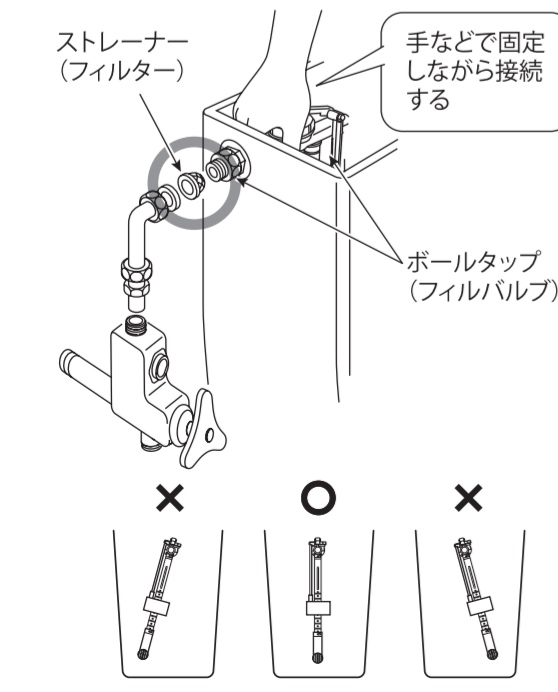
床フランジの U 型溝部にボルト (M8×40) の頭を下にして横より差し込み、便器のボルト孔とボルトを合わせながら、静かに設置してください。

- POINT**
- 便器はがたつきないように設置してください。
  - 六角ナットを締めすぎると便器が破損するおそれがあります。
  - 白セメントで固定しないでください。



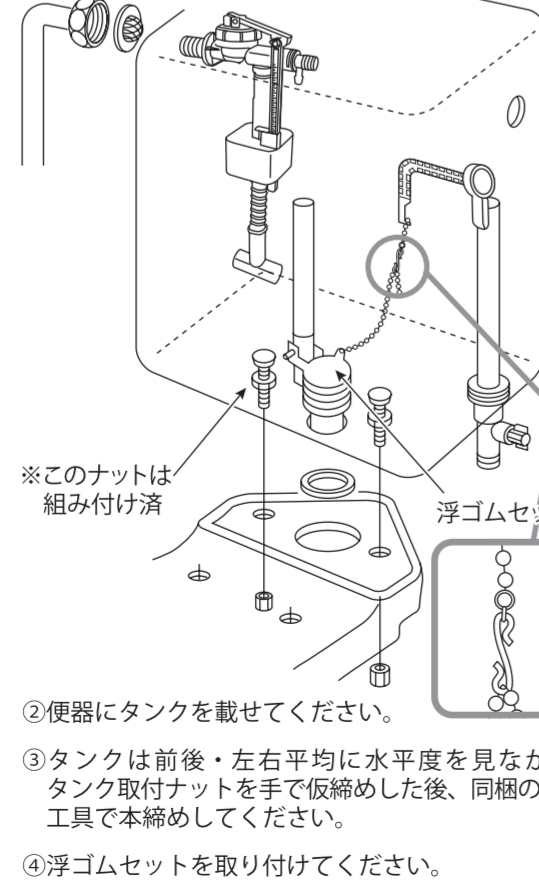
## 4 ボールタップ(フィルバルブ)と止水栓の接続

- ①かならずストレーナー(フィルタ)を取り付けてください。ボールタップ(フィルバルブ)にゴミが侵入すると作動不良を起すので、水が流れ放しとなります。
- ②ボールタップ(フィルバルブ)は樹脂製です。組立て時に無理な力で締め付けしないでください。ねじ部の破損の原因となります。
- ③壁内の配管中に異物が残っていることがありますので、必ず捨て水を行って、異物を取りのぞいてください。
- ④止水栓と接続したとき、ボールタップ(フィルバルブ)が斜めにならないように気をつけてください。正常に働かなくなります。



## 5 便器とタンクの取り付け

- ①タンクにセットしたボルトの先端にねじ込んであるタンク取付ナット(2個)を取りはずします。
- POINT**  
タンクのダグラス弁の先に接続パッキンの字を上にして差し込んでおき、タンクを便器にセットしてください。



## 6 手洗接続管と手洗い吐水部の接続

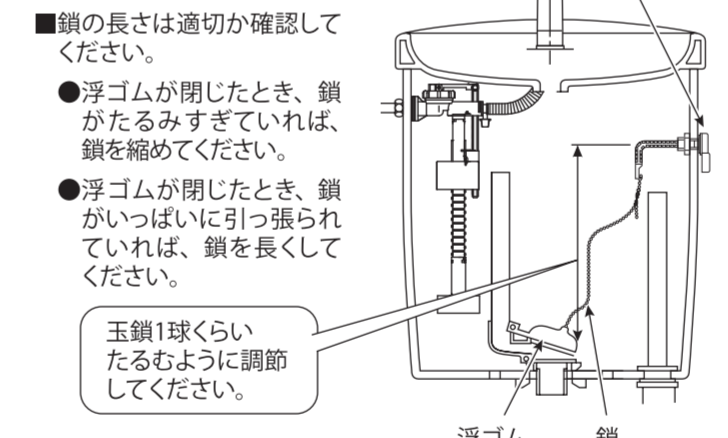
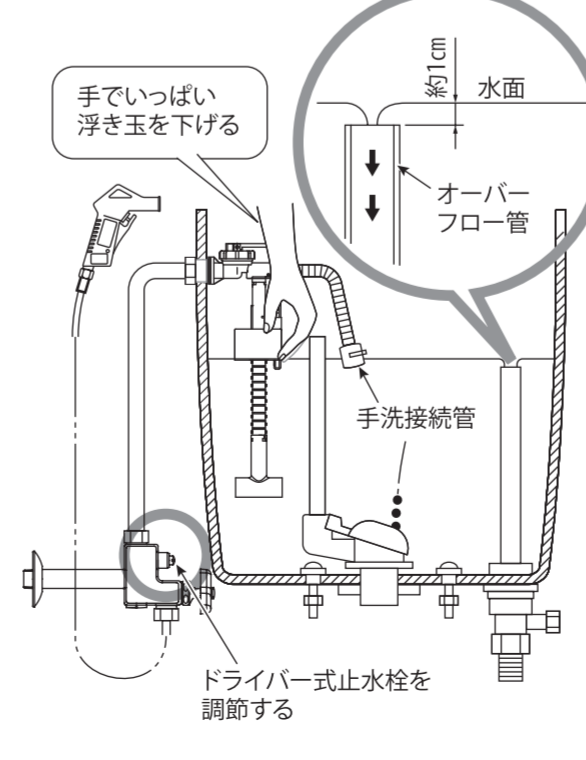
- ①タンクのふたに手洗い吐水部を取り付けます。
  - ②右図を参考に、手洗接続管のナットを右に回して、最後まで確実に接続してください。
- POINT**  
※ナットを回すとき、手洗接続管を無理な方向に曲げたり、ねじらないでください。亀裂や水漏れの原因になります。またタンクのふたの裏側(陶器)との干渉による亀裂にもご注意ください。

## 7 止水栓(ウォーターダスター付)の構造

- この止水栓は特殊型です。
- ・止水栓(①)をドライバーで回すと止水、流水の調節ができます。
  - ・ハンドル(②)はウォーターダスター側の元栓です。
  - ・引金(③)を握るとウォーターダスターから吐水し、離すと止まります。
  - ・ストレーナー(④)を装着してありますので、ゴミなどが詰まった場合はゴミを取りのぞいてください。
- POINT**  
ボールタップ(フィルバルブ)に取り付ける前に、バケツなどに捨て水をして配管内のゴミを出してください。

## 8 全部品取り付け後の点検

- バケツ等で一度に 10ℓ の水を流して配管から漏水しないか確認してください。
  - 止水栓を開いて通水し、各部からの水漏れがないか確認してください。
  - 止水栓で流水の確認をしてください。万一、ボールタップ(フィルバルブ)が故障し、水が止まらない場合でも、タンクから水があふれないようにするために、流水量の調整は必ず行ってください。
- ①止水栓を閉めてタンクのふたを取りはずしてください。
  - ②浮玉を手でいっぱい下げて、止水栓を徐々に開き、水がオーバーフロー管からあふれますが、水位がオーバーフロー管より 1cm 以上上昇しないよう、止水栓の開きを調節してください。



- ボールタップ(フィルバルブ)の調節は適切かどうかを確認してください。
- ・ボールタップ(フィルバルブ)給水口に、止水栓などを接続する際は、捨て水を行い、配管内のゴミを出してから接続してください。また、締め付けによりボールタップ(フィルバルブ)が、タンク内壁に当たり、浮き球部が上下しなくなり、タンクへ給水および止水できません。
- ・取り付け後はかならず、タンク内壁面との隙間と、ボールタップ(フィルバルブ)の上下作動を確認してください。
- 室温が 0℃ 以下になる場所では、止水栓、連結管にはカバーヒーターバンド(市販品)を取り付けてください。
- 室温が 0℃ 以下になる場所では、凍結によるタンクの割れを防ぐため、タンク凍結防止ヒーターを使用してください。

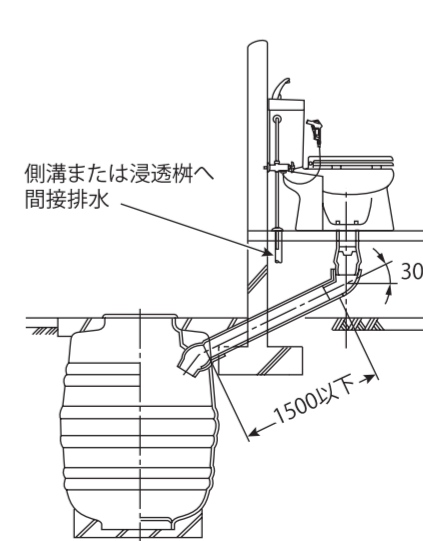


●極寒地では、水抜栓工事を行ってください。

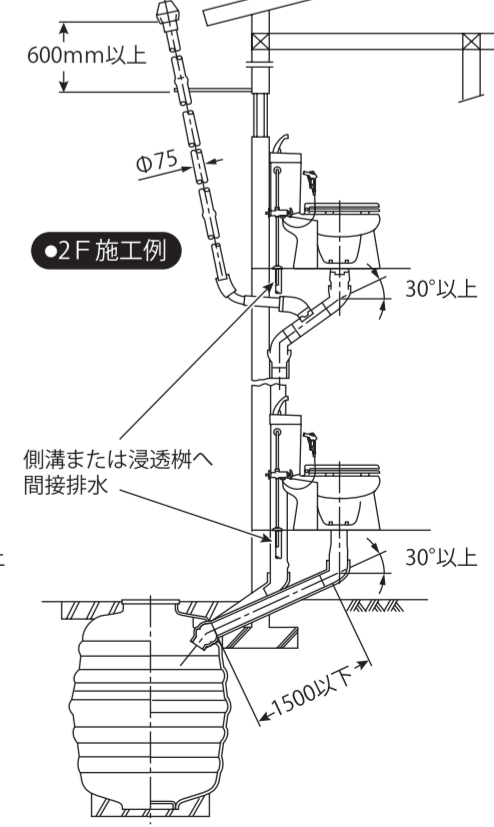
## 配管上の注意

- ①配管材料
  - 管の材質は、JIS K6741 (硬質ポリ塩化ビニル管) による塩ビ管で、肉厚は、排水管 2.0mm 以上、排気管 1.5mm 以上のものをご使用ください。(排水管の継手がブロー成形品の場合は 1.6mm 以上)
- ②排水管
  - 排水管の直径は呼び径 100 以上をご使用ください。
  - 横引き管の長さは 1.5m 以内、勾配は 30 度以上を確保してください。
  - 横引き管の途中にはエルボを使用しないでください。
  - 接合部の接着は漏水、漏気がないよう確実に行ってください。
  - 横引き管の勾配が小さいと詰まります。

## 便槽施工例



- ③排気管
  - 立て管(汚水立て管)が 1.5m を超える場合は、その上部などから排気管を設置してください。
  - 排気トップを設置する場合は、防臭機能に支障をきたさないものをつけてください。
  - 排気トップの下端は建物の窓や排気口などの上端より 600mm 以上の高い位置に設置してください。
  - 排気管の直径は、呼び径 50 以上をご使用ください。
  - 臭突管ベンチレーターに電動ファン付のものを使用しないでください。



製品・施工方法に関するお問い合わせは、下記お客様サービスセンターにお申し付けください。

アサヒ衛陶株式会社  
お客様サービスセンター ☎ 0120-525-139 (受付時間 9:00~17:00)  
携帯電話・PHS 一部のIP電話等ご利用は ☎ 0570-031-505 (有償) (年末年始・GW・夏期・土日・祝祭日を除く)